



## 平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月2日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東  
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岩田 弘三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊澤 修 TEL 078-435-2800  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月9日 配当支払開始予定日 平成29年1月20日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	24,773	2.1	1,261	42.0	1,293	43.2	890	63.9
28年4月期第2四半期	24,272	2.6	888	47.1	903	44.7	543	82.3

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 890百万円 (69.9%) 28年4月期第2四半期 524百万円 (58.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第2四半期	33.52	—
28年4月期第2四半期	20.45	—

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第2四半期	31,104	25,403	81.7	956.44
28年4月期	30,945	24,937	80.6	938.91

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 25,403百万円 28年4月期 24,937百万円

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	18.00	—	32.00	50.00
29年4月期	—	9.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	16.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年4月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

### 3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,777	3.7	2,822	10.8	2,854	10.5	1,721	6.2	64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期2Q	26,788,748株	28年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	29年4月期2Q	228,628株	28年4月期	228,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期2Q	26,560,143株	28年4月期2Q	26,560,586株

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は平成28年12月5日に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年5月1日～平成28年10月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府や日銀の各種政策の効果もあって緩やかな回復基調で推移しましたが、景気の先行き不安による消費者の節約志向の高まりに加え、相次ぐ台風など天候不順による影響もあり、個人消費は低迷し、本格的な景気回復には至りませんでした。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、お客様にご満足いただける売場づくりに継続して取り組んでまいりました。夕方の混雑時にクイックに買い物ができるようにするため、パック商品の品揃え強化を行い「駅ビル」「駅ナカ」立地の店舗では、多段オープンケースの導入を継続して行いました。また、買上点数の増加および新たな需要の創造を目的として新商品開発に取り組みました。合わせて、人が集まるお盆や秋の連休には、旬の素材や調理法にこだわった高付加価値商品の提案を行いました。さらに、8月の相次ぐ台風などの天候不順により、一時的に来店客数が減少したものの、9月以降の野菜の価格高騰に合わせ、当社の強みであるサラダの販売強化に積極的に取り組んだことが、売上高と営業利益の伸長に繋がりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		平成28年4月期 第2四半期(連結)		平成29年4月期 第2四半期(連結)		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
R F 1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	9,683	39.9	9,472	38.2	97.8
	フライ	3,975	16.4	3,730	15.1	93.8
	その他そうざい	3,059	12.6	3,475	14.0	113.6
	小計	16,717	68.9	16,677	67.3	99.8
グリーン・グルメ		2,713	11.2	3,267	13.2	120.4
いとはん		1,951	8.0	1,838	7.4	94.2
神戸コロッケ		1,352	5.6	1,402	5.7	103.7
ベジテリア		797	3.3	802	3.2	100.7
融合		533	2.2	595	2.4	111.6
その他		205	0.8	189	0.8	91.9
合計		24,272	100.0	24,773	100.0	102.1

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「R F 1」ブランドにおきましては、「食と健康」をテーマに、サラダを中心とした健康的な食生活・食習慣の提案として、食べ合わせや旬の素材の価値を啓蒙するリーフレットを配布し、広く健康情報を発信いたしました。野菜の価格高騰の際には緑の30品目サラダなどの定番商品が多くのお客様に支持されました。また、焼きたての料理メニューを積極的に販売するとともに、家族や友人が集まるお盆や秋の連休に合わせた特別商品を展開しました。その結果、売上高は16,677百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

「グリーン・グルメ」ブランドにおきましては、セレクトショップとしてR F 1ブランドのサラダを中心とした品揃えに、いとはん、融合の商品を導入し強化するとともに、サラダと料理の買い合わせ販促を積極的に実施し、お客様のニーズに合わせた売場づくりを行いました。また、第43期より進めておりましたR F 1からグリーン・グルメへの業態変更の影響により、売上高354百万円がR F 1からグリーン・グルメの売上高となりました。その結果、売上高は3,267百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、四季の食材、海の幸、山の幸を堪能できる「一汁二菜プラス和さらだ」という現代版の一汁三菜の考え方を取り入れた食卓、四季の食材を楽しむ提案として、旬の素材を使用した商品の販売強化や、「より健康を意識していただく」ことをテーマに、1日分の野菜が摂取できるセットや低カロリーのお弁当を積極的に展開しました。その結果、売上高は1,838百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、「食と健康」をテーマにしたコロッケを継続して販売するとともに、北海道産とうもろこしや鳴門金時など旬の素材を使用したコロッケの展開を行いました。また、北海道北見市端野町産男爵いもの紹介リーフレットを配布するなど新じゃが販促を行いました。その結果、売上高は1,402百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「KENKOサービス・野菜習慣」をテーマに、夏から秋への季節の変わり目に不足しがちな栄養素の補給を提案するなど、野菜のチカラを活かしたジュースの強化に取り組みました。その結果、売上高は802百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

「融合」ブランドにおきましては、「アジアのエナジーを食卓へ」をテーマに、アジアらしい活気や元気を感ずるメニューを特集するなど、アジア料理と健康に関する情報発信に継続して取り組みました。なかでも、パクチー、空心菜、タンドリーチキンといった東南アジアの素材やテイストを感じる商品が好調に推移しました。その結果、売上高は595百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は24,773百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は1,261百万円(前年同期比42.0%増)、経常利益は1,293百万円(前年同期比43.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は890百万円(前年同期比63.9%増)となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて158百万円増加し、31,104百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加343百万円、売掛金の減少103百万円、原材料及び貯蔵品の減少160百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて306百万円減少し、5,700百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少198百万円、賞与引当金の減少107百万円等によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて465百万円増加し、25,403百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は81.7%、1株当たり純資産額は956円44銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,777	12,121
売掛金	4,171	4,068
製品	67	58
仕掛品	77	125
原材料及び貯蔵品	481	321
その他	520	467
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	17,096	17,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,927	6,834
土地	2,948	2,948
その他(純額)	1,920	2,102
有形固定資産合計	11,795	11,885
無形固定資産		
その他	357	304
無形固定資産合計	357	304
投資その他の資産		
その他	1,705	1,761
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,695	1,751
固定資産合計	13,848	13,942
資産合計	30,945	31,104
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,224	1,263
1年内返済予定の長期借入金	78	26
未払法人税等	700	501
賞与引当金	663	555
その他	2,901	2,786
流動負債合計	5,568	5,133
固定負債		
長期借入金	9	101
その他	429	466
固定負債合計	438	567
負債合計	6,007	5,700

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	13,643	14,108
自己株式	△210	△210
株主資本合計	24,837	25,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	52
為替換算調整勘定	62	47
その他の包括利益累計額合計	99	100
純資産合計	24,937	25,403
負債純資産合計	30,945	31,104

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	24,272	24,773
売上原価	10,172	10,170
売上総利益	14,100	14,602
販売費及び一般管理費	13,211	13,341
営業利益	888	1,261
営業外収益		
受取配当金	4	4
保険配当金	1	12
為替差益	1	5
その他	10	10
営業外収益合計	17	33
営業外費用		
その他	2	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	903	1,293
特別損失		
固定資産除却損	9	—
役員退職労金	20	—
特別損失合計	29	—
税金等調整前四半期純利益	874	1,293
法人税等	330	403
四半期純利益	543	890
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	543	890



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	543	890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	15
為替換算調整勘定	△1	△14
その他の包括利益合計	△19	0
四半期包括利益	524	890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	524	890
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	874	1,293
減価償却費	794	765
賞与引当金の増減額(△は減少)	112	△107
受取利息及び受取配当金	△5	△5
固定資産除却損	9	—
売上債権の増減額(△は増加)	△296	100
たな卸資産の増減額(△は増加)	5	121
仕入債務の増減額(△は減少)	104	39
その他	187	△29
小計	1,786	2,178
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△426	△617
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,364	1,565
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△409	△528
無形固定資産の取得による支出	△45	△32
長期前払費用の取得による支出	△190	△119
差入保証金の差入による支出	△15	△10
差入保証金の回収による収入	4	3
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△676	△707
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	95
長期借入金の返済による支出	△5	△55
リース債務の返済による支出	△153	△139
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△357	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△516	△525
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170	323
現金及び現金同等物の期首残高	10,079	11,377
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,250	11,701

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。